

みやび

## 雅な着物が現代の街を舞う

かが ゆうぜん × まつとう  
加賀友禅 × 松任 いち [石川県金沢市]

加賀では室町時代から梅染という紅梅の樹皮や根を煎じた汁で染める無地染が行われていました。江戸時代の初めになると加賀御国染と総称される色絵や色絵紋などの技法が確立し、鮮やかな着物が盛んに製作されるようになります。その後、江戸時代中期に京都の扇絵師・宮崎友禅齋が金沢で斬新なデザインの模様染を生み出し、加賀友禅は飛躍的に発展しました。草花等の自然描写の絵柄が特徴で今もなお作家が一品ずつ手作業で仕上げています。また作家のサインである落款は、加賀友禅では認められた者だけに許される作り手の誇りとなっています。松任さんは次代を担う後進の育成に力を注ぎながらも、しっかり伝統を継承しつつ、第一線で活躍する作家として現代の女性に喜ばれる作品づくりに情熱を傾け続けています。



●茶屋辻模様(訪問着)  
華やかな中にも雅な美しさを感じられる。落ち着いた日本の風景を映し込んだ作品。



●松寿慶賀文様(振袖)  
加賀友禅の伝統的な意匠。艶やかな着物を纏い笑顔あふれる女性の姿が目立つ。



●左2反:付下げ 右:染帯  
シンプルさを好む現代女性にあったデザインを提案する。



●芽吹き(紋紗コート)  
粋に普段使いできるのも加賀友禅の魅力の一つ。



●落款  
落款は、妥協することなく一切の責任を負うという作家の誇り。



デザインから彩色まで、繊細な作業が続く。

## 【アトリエ以知】

〒920-3113  
石川県金沢市塚崎町へ4-2



## 松任 いち 伝統工芸士(経済産業大臣指定 財伝統的工芸品産業振興協会認定)

- 1970年 金沢美術工芸大学 工芸繊維デザイン科 卒業
- 1970年~1985年  
テキスタイル系の会社に就職  
独立し「アトリエ以知・デザインプロダクション」を設立
- 1985年 加賀友禅作家 大西正廣氏に師事
- 1996年 加賀友禅作家として独立 伝統加賀友禅工芸展、加賀友禅新作競技会などで入選
- 2018年 北川温泉「吉祥CAREN」襷絵制作
- 2019年 加賀友禅師育成プログラムに参加。アトリエ以知より2名の新人友禅師を輩出する
- 2020年 金沢市デジタル工芸展に出展
- 2021年 第43回伝統加賀友禅工芸展 銅賞受賞  
第47回加賀友禅新作競技会 石川県知事賞受賞
- 2024年 第49回石川県伝統産業功労者 受賞